

ゴールドマン出資SPC、NIPPO株のTOB開始 1株4000円

2021/11/11 23:03 (2021/11/11 23:41更新) | 日本経済新聞 電子版

ENEOSホールディングスと、米ゴールドマン・サックスが出資する特別目的会社(SPC)のロードマップ・ホールディングス(東京・港)は11日、ENEOSの子会社であるNIPPO株のTOB(株式公開買い付け)を12日から始めると発表した。TOB価格は1株4000円で、9月の表明時点での価格を据え置いた。

買い付け期間は12日から12月24日まで。4000円という価格を巡っては、香港の投資ファンド、オアシス・マネジメントや[マネックスグループ](#)傘下のカタリスト投資顧問が異議を申し立てており、NIPPO株の11日の終値は4075円とTOB価格を上回っている。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

